

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度河川管理施設の予防保全型点検評価検討業務														
業 務 概 要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 計画準備</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td>2. 資料収集整理</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td>3. 堤防や護岸等の被災リスク要因の分析・検証</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td>4. 河道内の変化要因の分析及びリスク評価検討</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td>5. 河川維持管理技術者の活用効果検討</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td>6. 許認可審査の技術的支援方法の検討</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td>7. 報告書作成</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> </table>	1. 計画準備	1式	2. 資料収集整理	1式	3. 堤防や護岸等の被災リスク要因の分析・検証	1式	4. 河道内の変化要因の分析及びリスク評価検討	1式	5. 河川維持管理技術者の活用効果検討	1式	6. 許認可審査の技術的支援方法の検討	1式	7. 報告書作成	1式
1. 計画準備	1式														
2. 資料収集整理	1式														
3. 堤防や護岸等の被災リスク要因の分析・検証	1式														
4. 河道内の変化要因の分析及びリスク評価検討	1式														
5. 河川維持管理技術者の活用効果検討	1式														
6. 許認可審査の技術的支援方法の検討	1式														
7. 報告書作成	1式														
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森戸 義貴 福岡市博多区博多駅東2-10-7														
契 約 年 月 日	令和 6年 6月14日														
契 約 業 者 名	(一社) 北部九州河川利用協会														
契 約 業 者 の 住 所	福岡県久留米市宮ノ陣3-8-8														
契 約 金 額	14,960,000円(税込み)														
予 定 価 格	14,993,000円(税込み)														
随意契約によることとした理由	別紙の通り														
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号														
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務														
履 行 期 間 (自)	令和 6年 6月15日														
履 行 期 間 (至)	令和 6年12月20日														
備 考															

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度河川管理施設の予防保全型点検評価検討業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10-7
3. 契約の相手方 住 所：福岡県久留米市宮ノ陣三丁目8番8号
会社名：一般社団法人北部九州河川利用協会
電 話：(0942)-34-6733
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、洪水・高潮の水害から公共の安全を保持することを目的に、九州管内の直轄管理河川の堤防等河川管理施設を対象として、被災リスク要因や河道の変化要因（土砂堆積、樹木繁茂等）などについて整理・検討を行い、今後の効率的・効果的な予防保全措置を実施するための河川管理手法について検討を行うものである。

2) 業務の内容

- | | |
|-------------------------|----|
| 1. 計画準備 | 1式 |
| 2. 資料収集整理 | 1式 |
| 3. 堤防や護岸等の被災リスク要因の分析・検証 | 1式 |
| 4. 河道内の変化要因の分析及びリスク評価検討 | 1式 |
| 5. 河川維持管理技術者の活用効果検討 | 1式 |
| 6. 許認可審査の技術的支援方法の検討 | 1式 |
| 7. 報告書作成 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「河道内の変化要因（土砂堆積、樹木繁茂等）を踏まえた河道管理手法の検討における留意点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者) 河川部 河川管理課長